

平成29年度 当初予算要求事業内容説明書

9款 5項 4目

第3章 心豊かな人づくり、まちづくり

基本施策3 生涯学習の推進

【会計】一般会計

施策1 生涯学習の環境を整備します

9款:教育費 5項:社会教育費 4目:図書館費

事業	225	図書館電算整備事業
担当所属	佐倉図書館	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
12,976千円	12,976千円				

【事業の概要】

事業の概要	<p>図書館システムの安定稼働のためシステム機器等の賃借、機器保守、システムソフト保守を行い、図書館サービスを提供します。</p> <p>現行システムの賃貸借が平成29年2月で契約期間満了となりますが、平成29年3月より1年間の再リース契約いたします。</p> <p>それ以降につきましては、システム及び機器の保守が終了し、またインターネット等での利用者サービスに障害を来す恐れがあることから新図書館システムの導入が必要です。事業者選定については機能、運用、価格等を総合的に判断するため公募型プロポーザルを検討しております。契約期間につきましては平成30年3月から5年間の債務負担行為を設定する予定です。</p>
事業の目的	<p>図書館システムを整備し、貸出・返却・蔵書管理等の基幹業務の円滑な遂行、またインターネットを活用した検索、予約等、市民サービスの充実を図ります。</p> <p>新図書館システムについては、現行機能を維持し図書館基幹業務が円滑に行えることを基本とし、利用者サービス向上・利用者の増加を図るため、Webによる操作性の向上、国会デジタル送信端末の設置、また将来的に電子書籍に対応可能なシステムの導入を目的とします。</p>
事業の効果	<p>図書館システムの整備により貸出・返却・蔵書管理等の基幹業務を円滑に行うことができ、またインターネットを活用した蔵書検索、資料予約等の市民サービスの向上が図られます。</p> <p>新図書館システムの導入は、公募型プロポーザルにより機能、運用、価格等を総合的に判断し、現行機能を維持しつつ、より使いやすいシステムを導入することにより円滑な業務の遂行と社会情勢に即した市民サービスの向上が図られます。</p>

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
14 使用料及び賃借料		
機器賃借料	12,976千円	図書館情報提供システム賃借料
計	12,976千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成29年度計画値
個人貸出点数	1,453,654点
うち、予約による貸出点数	230,923点
うち、インターネット予約による貸出点数	159,414点